

<平成 27 年度>

土木部の運営方針

土木総務課	里山みどり課
道路管理課	公園課
道路補修課	交通対策課
道路整備課	用地課

■基本情報■

<担当事務>

- (1) 道路及び交通に関すること。
- (2) 公園及び緑化に関すること。
- (3) 河川に関すること。
- (4) 里山の保全及び振興に関すること。

<部の職員数>H27年4月1日現在

正職員	123名
再任用職員	8名
任期付職員	-名
非常勤職員	1名
合計	132名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く。

■基本方針■

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤整備を行うとともに、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発や、快適な生活空間を創造するためにみどりの保全や緑化の推進に取り組みます。

また、事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度に、中長期的な視点も加え選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めます。

平成 27 年度は、「集約型都市構造」(※)の実現に向け、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通政策に取り組みます。

引き続き、安全で快適な交通体系の軸となる枚方藤阪線の計画的な整備、防災機能を兼ね備えた東部公園の第 2 期整備区域の造成工事を進め、安全で快適なまちづくりに取り組みます。

また、みどりの持つ多様な機能を広く周知し、その効果を発揮させるために、「緑の基本計画」の改定や里山の保全に取り組みます。

※「集約型都市構造」とは、少子・超高齢化社会に対応するため、都市構造を拡散型から集約型へ転換し、コンパクトなまちづくりを進めていくもの。



枚方藤阪線（天津橋工区）完成区間

I 重点施策・事業

◆都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備

広域交通ネットワークを構成する新名神高速道路や I.C.へのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線の整備促進にあたっては、市民にしっかりと情報発信を行うとともに引き続き、事業者に対し、周辺環境に十分配慮した道路として整備されるよう働きかけます。

また、淀川を渡河する新橋の整備については、対岸市と連携して認識を深めるとともに、早期整備に向けて国・府へ働きかけます。

本市の都市計画道路については、安全で円滑な交通体系を構築するため、本市道路ネットワ

ークの軸であり、第二京阪道路や枚方市駅へアクセスする牧野長尾線や枚方藤阪線、さらに避難路や緊急時の輸送経路の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。

また、国、府、警察、本市が連携して取り組んでいる国道 307 号の渋滞対策については、それぞれの役割の中で、(仮称) 責谷川沿い道路の整備に向け、取り組みます。

◆安全・安心な交通環境の創出

本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、「枚方市総合交通計画」の策定に向け、取り組みます。



総合交通計画

通学路の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、JR 学研都市線の交野踏切及び第一藤阪踏切の拡幅整備に取り組むとともに、中宮第 2 号線の改良整備を進めます。

安全で快適な自転車利用環境を創出するため、走行空間の拡大・自転車の交通マナー学習機会の充実・高齢者の事故抑制に取り組みます。

◆道路・公園等の効果的・効率的な維持管理

道路や公園などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に引き続きパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。

また、安全で快適な道路環境の保持及び効果的・効率的な施設の維持管理を図るため、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯などの点検のほか、橋梁やトンネルについては、より精度を高めた点検を行います。

橋梁や公園の長寿命化計画に基づく、修繕や

耐震化、改築等の工事、また、近年頻発する集中豪雨などに対応するため、緊急体制の充実を図るとともに、道路排水施設等における排水機能の改善に引き続き取り組みます。

◆公園の整備と緑化推進や緑地保全によるみどり豊かな都市環境の創造

東部公園については、第 2 期の整備として緑地部分の整備を進めていきます。また、星ヶ丘公園は計画的に用地取得を行っており、今年度は、自然林部分を含めた区域拡張の整備も行い、市民へ憩いとやすらぎの場を創出します。

天満川緑道の北楠葉町地区においては、火災における延焼防止効果を高めることや一時避難地への避難経路を確保するため緑道の整備を進めていきます。

みどりの保全、創出、活用を総合的かつ計画的に進めるため、環境や社会状況の変化に対応した「緑の基本計画」を改定するとともに、「里山保全基本計画」については、関連諸計画と整合を図り、改定作業を進めます。

また、平成 26 年度に創設した「花と緑のまちづくり事業」については、市民への周知をさらに図り、地域における緑化活動、みどりによる良好な景観、拠点整備による地域のにぎわいの創出をめざします。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	公園・道路・河川の日常的な維持管理についてアダプトを推進する。
27. 市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営の一元化に向け検討を進める。
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市民からの通報や要望への迅速な対応などの行政の役割と責任やセーフティネットの確保等の視点から整理し、それを踏まえた今後の方向性について、基本的な考え方を示す。
37. 指定管理者制度の導入拡大	公園等の管理方法として、「市民の森」の指定管理者制度の導入に向けて、具体的に検討する。
41. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ②自動車駐車場特別会計	適切な施設保全と利用者増に繋がる施策を推進させます。

<改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
里山保全事業	津田地区、穂谷地区の森づくり委員会やボランティア団体への活動の支援
駐車場案内システム維持管理業務	駐車場案内システムの廃止と案内板の撤去

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行う。
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施する。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆市域幹線ネットワークの強化を図るため都市計画道路の建設や、防災・安全対策として通学路の改良整備や主要道路リフレッシュ事業などに国の交付金等を最大限に活用し、効率的に取り組みます。

	維持管理	建設事業	計
平成 27 年度当初 予算	10 億 1700 万円	18 億 1000 万円	28 億 2700 万円

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効果的・効率的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。
- ◆新名神高速道路やその関連事業など、広域的な事業調整の増大に対応するため、大阪府との人材交流を積極的に行います。

- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。



ファミリー花壇コンテストの様子

V 広報・情報発信

- ◆新名神高速道路をはじめ、都市計画道路・公園等の整備は、本市のまちづくりや市民生活に与える影響も大きいことから、広報ひらかたやホームページなど適時・適切に周知が図れるよう情報発信します。
- ◆市民の皆様への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページの充実など、情報発信の強化に努めます。特に公共工事に際しては、現場の仮囲いに計画平面図などを掲示し、市民の皆様にも事業への理解を深めます。
- ◆みどりに関する、様々な活動を市民の皆様を紹介するため、市民の各種環境関連イベントにおいて、里山保全に関する情報や保全活動団体の活動内容を示したパネル、「ひらかた Green ワークショップだより」などを展示するとともに、里山保全に関する講座の実施やエフエムひらかたへの出演等を通じ、広く市民に情報を発信します。

- ◆みどりのシンポジウムの開催

全国緑化キャンペーンである「みどりの月間」期間中に開催している「枚方市緑化フェスティバル」の40周年記念事業として「みどりのシンポジウム」を行います。

基調講演、パネルディスカッションを実施し、市民にみどりが持つ多様な機能について理解を深めてもらうとともに、その中で得られた貴重な意見や情報などは「みどりの基本計画」に反映します。



道路の穴ぼこを発見したら、連絡を！！